



「乳房再建」は形成外科へ

乳房切除手術によって乳房の喪失感を強く感じられたり、「左右のバランスが悪い」「パッドをいれて調節するのが大変」「温泉に入りづらい」といった不便さや不自由さを感じられることがあります。

形成外科では、そのような方に対し乳房再建を提案しています。

乳房を再建することで乳房の喪失感を軽減し、

患者さまの身体的な苦痛の軽減、精神的、社会的活動など、生活の質の改善と向上を図ります。



形成外科 中桐 僚子

＜乳房再建のタイミングと方法＞

再建の時期は、乳がん切除手術と同時に再建手術も行う「一次再建」と、乳がん切除のみ行い後日再建手術を行う「二次再建」があります。

再建の方法は、乳房のボリュームのほか、切除後の状態や早く社会復帰をしたい方、妊娠・出産の予定など、患者さんの希望も考慮しながら決定します。

	一次再建	二次再建
長所	乳房の喪失感が少ない 1回の手術で済むことも可能	乳がんの治療を最優先できる 再建方法についてじっくり考えられる
短所	手術前に考える時間が少ない 乳がん治療に影響する可能性もある	乳房喪失の期間がある 2回以上手術が必要

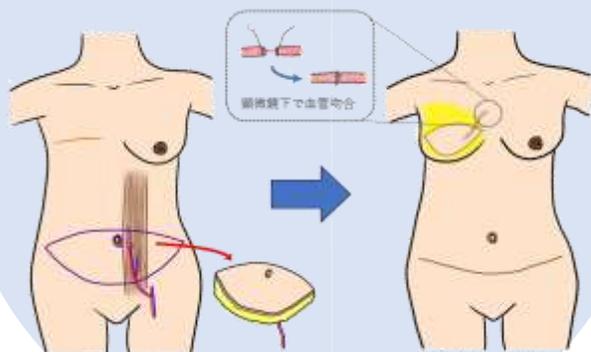
当院は、乳腺疾患の外科治療から形成外科と連携した乳房再建まで一連の治療を1施設で完結できる数少ない施設です。

一次再建も二次再建も行うことが可能です。

乳房再建の方法は大きく分けて2つ

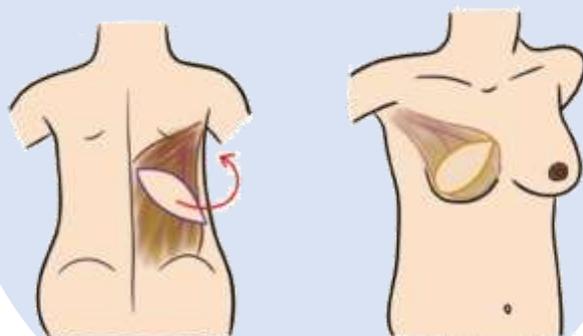
①自分の体の組織を用いて再建する方法

おなかの組織で再建



おなかの皮膚・脂肪・筋肉を乳房に移植します。

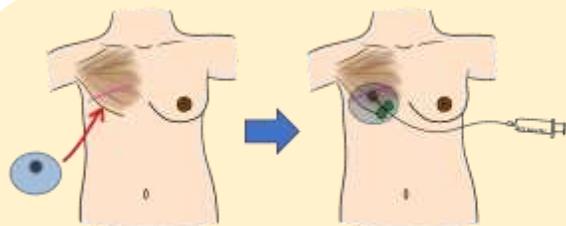
背中の組織で再建



背中の筋肉とその上の皮膚・脂肪を乳房に移植します。

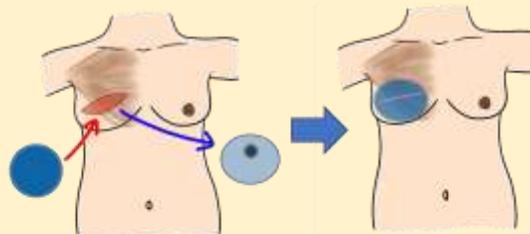
②人工乳房（乳房インプラント）を用いて再建する方法（2回手術が必要になります）

ティッシュエキスパンダー留置



乳房にインプラントを入れるスペースを作るため、胸の筋肉の下にエキスパンダー（組織拡張器）を留置

乳房インプラントへの入れ替え



その後、外来通院で膨らませていく

十分なスペースができたならインプラントに入れ替え

<医療費について>

当院では、健康保険適用の手術のみ実施しているため、医療費については高額療養費の申請が可能です。

☆乳腺外科については
クロスレター第50号をご覧ください。

【地域の皆様へ】

当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む24時間診療することのできる体制を整えております。担当医師は正面玄関掲示にてご確認ください。